

平成27年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第3回）議事要旨

1 日 時 平成27年7月22日（水）13：30～16：20

2 場 所 新見市役所3階 第4委員会室

3 出席者

(1) 評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

(2) 事務局 上山課長、宮地係長、掛屋主査

4 議 事

(1) 平成26年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

前回の評価委員会で審議した内容について、事務局が報告書としてまとめた内容の確認を行った。

また、法人への評価結果の通知書（案）、市長への評価結果の報告書（案）及び財務諸表等の意見書（案）について、審議した。

取りまとめた評価結果に基づき、8月6日（木）10時から市長に報告を行うこととした。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>・ 評価4「特筆すべき進行状況にある」ので、もう少し記述を追記することとして、各学科、学部についてそれぞれの特長を記載するのが良い。</p>	<p>【大項目評定】 3</p> <p>(項目別評価評定) 4</p> <p>・ 地域交流活動の定着や、学生個々の授業進捗に基づいた個別支援などにより、学生個々の成長が見られる。</p> <p>○次のとおり追記する。</p> <p>看護学部</p> <p>・ 保健師、看護師の国家試験合格率100%を達成したことや、新設の大学院看護学研究科では、定員も確保され、順調にスタートできたことが評価できる。</p> <p>幼児教育学科</p> <p>・ にいみこどもフェスタや、にいみ子育てカレッジなど幼児や保護者を対象とした大変良い事業に取り組みされており、評価できる。</p> <p>地域福祉学科</p> <p>・ 土下座祭りへの参加など「地域文化演</p>

<p>2) 教育の実施体制</p> <p>2 研究</p> <p>1) 研究の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員を確保することは大事なことである。評価結果は「補充」という言葉を使用した方が良い。 ・幼児教育学科では講師が3名退職されたが補充が無い。研究していく上で人員が不足すれば研究内容が充実しない。 <p>2) 研究の実施体制</p> <p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生の確保</p> <p>2) 学生への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評定4に格上げして評価する。 ・生活面での授業料減免と、奨学金の充実について追記する。 <p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 地域社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療への貢献について追記する。 	<p>習」授業として、積極的に地域交流活動に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に意見無しとする。 <p>(項目別評価評定) 3</p> <p>○次のとおり修正する。</p> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の確保については、必要な人員数が確保できるよう補充に努められたい。 <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人研究費の実績に基づく傾斜配分など、引き続き有効な活用を図られたい。 <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも優秀な学生の確保に努められたい。 <p>(項目別評価評定) 4</p> <p>○次のとおり修正する。</p> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPA(評価制度)を活用しながらの学習面での指導や、生活面では、授業料の減免・奨学金の拡充など、きめ細かな学生への支援が評価できる。 <p>【大項目評定】 4</p> <p>○次のとおり修正する。</p> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民への公開講座開催など地域との交流や、市内医療機関との連携による地域医療への支援に取り組まれており、地域社
--	--

<p>III. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善及び効率化</p> <p>2 人事の適正化</p> <p>IV. 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己収入の確保</p> <p>2 外部資金の獲得</p> <p>3 経費の抑制</p> <p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己点検及び自己評価 ・ 評定2であり、危機意識を持つての取組を求める記述が必要である。</p> <p>2 情報公開及び情報発信</p> <p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p>会への貢献度が高い。</p> <p>【大項目評定】 3 ○特に意見なしとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見無しとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見無しとする。</p> <p>【大項目評定】 3 ○特に意見なしとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見無しとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見無しとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見無しとする。</p> <p>【大項目評定】 3 ○特に意見なしとする。</p> <p>(項目別評価評定) 2 ○次のとおり追記する。 (修正後) ・ 学内全体で危機意識を持ち、評価結果を全職員に周知徹底させ、確実に改善が図られることを期待する。</p> <p>(項目別評価評定) 3 ・ 特に意見なしとする。</p> <p>【大項目評定】 4</p>
---	--

1 施設・設備の整備及び活用	(項目別評価評定) 3 ・特に意見なしとする。
2 危機管理及び安全管理	(項目別評価評定) 4 ・学生のノロウイルス感染に関する対応など、適正な危機管理体制が構築されており、評価できる
VII. 予算、収支計画及び資金計画 ・「適正な資金計画」の表現を「健全経営」に改めて記述するのが良い。	(項目別評価評定) 2 ○次のとおり修正する。 (修正後) ・赤字決算は残念である。財源の確保に努め、健全経営を図られたい。
VIII. 短期借入金の限度額	(項目別評価評定) 3 ・特に意見なしとする。
IX. 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 ～該当なし～	※該当なし
X. 前号に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 ～該当なし～	※該当なし
XI. 剰余金の使途	(項目別評価評定) 3 ・奨学金制度の拡充については、学生への支援につながり評価できる。
XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で定める事項 ～該当なし～	※該当なし
[全体評価実績報告書] 2. 財務状況について ・「適正な資金計画」を「財源の確保」に	○次のとおり修正する。

<p>改める。</p> <p>[評価結果報告書]</p> <p>6 評価結果</p> <p>(1) 総合的な評定（財務内容の改善についての欄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「適正な資金計画に努めるよう求める」を「財源の確保に努め、健全経営を図りたい。」とする。 <p>[財務諸表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書 	<p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度収支は、地域福祉学科の定員割れ等の要因により赤字決算となっている。学生確保とともに、財源の確保に努められたい。 <p>○次のとおり修正する。</p> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務内容の改善については、外部資金の獲得に向けての申請件数の増加や、職員の意識改革を図るなど、外部委託等の活用による経費節減の取組が評価できる一方、平成26年度においては、地域福祉学科の定員割れ等収入の見込み違いによる赤字決算となっており、財源の確保に努め、健全経営を図られたい。 ・承認する。（計画に対する実績は概ね良好であり、特に意見はありません。）
---	---

(2) 次回開催日について

- ・平成27年8月6日（水） 9時からとした。

以上